

年度別評価実施計画（施策体系変更前）

目標管理型の政策評価の実施に関するガイドライン（平成25年12月20日政策評価各府省連絡会議了承）及び従来の評価実施計画の考え方を踏まえ、環境省施策体系において評価を実施する年度を下記のとおり計画的に実施することとする。

施 策 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(参考)令和8年度	(参考)令和9年度
1. 地球温暖化対策の推進	○	○	○	○	○	○
2. 地球環境の保全	○			○		
3. 大気・水・土壌環境等の保全		○		○		○
4. 廃棄物・リサイクル対策の推進	○		○		○	
5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進		○		○		○
6. 化学物質対策の推進	○		○		○	
7. 環境保健対策の推進			○			○
8. 環境・経済・社会の統合的向上		○		○		○
9. 環境政策の基盤整備		○			○	
10. 放射性物質による環境の汚染への対処	○	○	○	○	○	○
評価施策数	5	6	5	6	5	6

（評価の対象）

「○」を付した年度は、通常の評価を行う年度。

空欄となっている年度は、モニタリング評価を行う年度。

（年度別評価実施計画の考え方）

1. 「1. 地球温暖化対策の推進」については、内閣の重要政策としての位置付け、地球温暖化対策への国民の関心の高さ等を踏まえ、毎年度通常の評価を行う。また、「2. 地球環境の保全」については、「1. 地球温暖化対策の推進」を毎年度通常の評価を行っていることを考慮し、おおむね3年度毎に通常の評価を行う。

2. 「3. 大気・水・土壌環境等の保全」から「6. 化学物質対策の推進」までについては、隔年度毎に通常の評価を行う。

3. 「7. 環境保健対策の推進」及び「9. 環境政策の基盤整備」については、上記施策より長期的な視点から、3年度毎に通常の評価を行う。また、「8. 環境・経済・社会の統合的向上」については、地域循環共生圏に向けた取組の重要性を踏まえ、隔年度毎に通常の評価を行う。

4. 「10. 放射性物質による環境の汚染への対処」については、国民の関心の高さ等を踏まえ、毎年度通常の評価を行う。

年度別評価実施計画（施策体系変更後）

目標管理型の政策評価の実施に関するガイドライン（平成25年12月20日政策評価各府省連絡会議了承）及び従来の評価実施計画の考え方を踏まえ、環境省施策体系において評価を実施する年度を下記のとおり計画的に実施することとする。

施 策 名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(参考)令和8年度	(参考)令和9年度
1. 地球温暖化対策の推進	○	○	○	○	○	○
2. 地球環境の保全	○			○		
3. 大気・水・土壌環境等の保全		○		⊖	○	⊖
4. 資源循環政策の推進	○		○		○	
5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進		○		○		○
6. 化学物質対策の推進	○		○		○	
7. 環境保健対策の推進			○			○
8. 環境・経済・社会の統合的向上及び環境政策の基盤整備		○		○		○
9. 地域脱炭素の推進		○		○		○
10. 放射性物質による環境の汚染への対処	○	○	○	○	○	○
評価施策数	5	6	5	6	5	6

（評価の対象）

「○」を付した年度は、通常の評価を行う年度。

空欄となっている年度は、モニタリング評価を行う年度。

（年度別評価実施計画の考え方）

1. 「1. 地球温暖化対策の推進」については、内閣の重要政策としての位置付け、地球温暖化対策への国民の関心の高さ等を踏まえ、毎年度通常の評価を行う。また、「2. 地球環境の保全」については、「1. 地球温暖化対策の推進」を毎年度通常の評価を行っていることを考慮し、おおむね3年度毎に通常の評価を行う。

2. 「4. 資源循環政策の推進」から「9. 地域脱炭素の推進」まで（「7. 環境保健対策の推進」を除く）については、隔年度毎に通常の評価を行う。

3. 「3. 大気・水・土壌環境等の保全」及び「7. 環境保健対策の推進」については、上記施策より長期的な視点から、3年度毎に通常の評価を行う。

4. 「10. 放射性物質による環境の汚染への対処」については、国民の関心の高さ等を踏まえ、毎年度通常の評価を行う。